

日時・時間 令和7年11月27日(木) 10:00~11:30

場所 れいんぼう共同生活援助事業所 虹の家Ⅲ

議事内容

① 開会の挨拶

② 会議の趣旨説明

③ 参加者
利用者代表 1名
家族の方代表 1名
地域の関係者 1名
福祉に知見がある方 1名
行政の職員 1名
れいんぼうワークス 所長、サービス管理責任者2名

④ れいんぼう共同生活援助事業所 事業所の紹介
れいんぼうの成り立ち

れいんぼうワークスについて
利用者概要 作業内容
農福連携について

れいんぼう共同生活援助事業所の概要
利用者概要
生活の様子を紹介
行事・防災の取組みについて
ヒヤリハット・事故報告書の紹介と対応について
求人活動について
生活費の収支報告
今後の取組み・方向性について

⑤ ホーム見学 虹の家Ⅴ 職員、利用者による住居・生活の紹介

⑥ 意見交換

利用者の代表 ○生活の中でわかりにくい事がある。困ってしまう。
⇒わかりやすい表示を作り、説明するようにしていくことをお伝えする。

○ホームの備品 リビングのTVリモコンが壊れていて使いにくい。
⇒すぐに新しい物を購入することをお伝えする。

保護者の代表：○本人の健康が不安がある。自分で言えないので、どうしていくか？
幸せに暮らして行って欲しい。

⇒体制として近隣のクリニックさんを嘱託医としてお願いしている。
将来的には訪問医療、看護師との通院出来る体制をとっていく方針
普段から異変や気になる事があれば、連絡帳や家族会などで共有し
必要に応じて医療などに繋げていきたい。

○親なき後、本人の財産をどうしていくか。後見制度を使うことに後見料や身
上監護のことなどを考えると、どうするか迷っている。

⇒これまでも学習会で何度か取り上げているが、今後も実際利用している
方の話を聞く機会や新しい情報ある度に提供していきます。今年度は愛西市
の権利擁護センターに相談して司法書士の方に来て頂いた。

- ・愛西市の福祉課の方より、愛西市には権利擁護センターがあり相談でき
る体制を取っているとの話があった。両親が亡くなった後の申請は、市
町申立てになるとのこと。
- ・福祉に知見がある方からは、制度の動向、最新情報の提供があり、自分
の所の施設では信頼性を見込めるということでサポート協会の利用を家
族の方に推奨しているという話がある。

地域の代表：○農業に関するのアドバイス・草刈りの大切さ

⇒れいんぼうとしては自然栽培の方向で、田んぼに関しては有期肥料を
使っている話を伝える。

○防災の取組みとして、地域のコミュニティが活発で年1回防災訓練を行
なっており、避難所の開設訓練も行なっているので、れいんぼうも参加し
てはどうかとの話が出る。また、地域の市江小学校、佐屋高校もコミュ
ニティとしてつながっているので、積極的に災害時利用したらよいのではな
いかとの話が出る。

⇒れいんぼうとしては市の危機管理課に連絡して防災訓練に積極的に参
加していきたいとお伝えしたい。また、れいんぼうワークスにはLP
ガス式の発電機があることをお伝えして、災害発生時には地域の中で
防災拠点として協力していきたいとお伝えする。

- ・市の福祉課の方からは、地区防災計画があるので参考にして欲しいと
の話がある。

⑦ 閉会の挨拶

- ・今回は利用者の方の負担を考え、利用者の不在時のホーム見学とした
ことを伝え、利用者の方が過ごされている時間帯の見学申し込みにつ
いて案内した。